

『図書館だより』

2月 図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	⑥	7	8	9	10	⑪
12	⑬	14	15	16	17	18
19	⑳	21	22	23	24	25
26	㉑	㉒	㉓			

○印 休館日
祝日(11日)月曜日、月末館内整理日(28日)

活字を目で追うことが読書だと思っていた時代から、言葉が耳から聞いたり、映像によって目から心の中に引き入れる時代に変化しつつあります。図書館も時代の変化に対応して行かなければなりません。市民の皆様の「声」を反映させるためにも、たくさんの方のコメントをお待ちしています。

◆今月中の新着図書案内

◇ 一般 図書

ふたり 赤川次郎
スイートホームズ探偵 筒井康隆
その冬の死 三枝和子
墨ぬり少年オペラ 阿久悠
海の彼方の空遠く 米谷ふみ子
幕末明治剣豪奇譚 津本陽
江戸の二十四時間 林美一
ルルの館 川西蘭
あじさい前線 連城三紀彦
面影橋 阿刀田高
芸能社会 平岩弓江
探偵小説十戒 R・ノックス

図書館を利用しましょう

昭和63年の利用状況は……

(昭和63年1月～12月)

- ・開館日数 282日
- ・蔵書数 57,133冊
- ・利用登録者数 2,419人
- ・貸出者数 26,062人
- ・貸出冊数 65,157冊

……でした。図書館を利用して
いるのは市民の8%にすぎません。

図書館はいつもみなさんの利用
をお待ちしています。

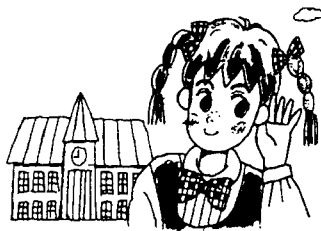
読みたい本の予約、問い合わせ
は、お気軽に図書館にお申し出
ください。

☎ 43-1321 内線40

◇ 児童 図書

遺跡発掘大昔のなぞびっくり事典
なんでも日本地図
きょうりゅう大集合

ハーバードからの手紙 下村満子
フロックスはわたしの眼福澤美和
夢の中に君がいる 越路吹雪物語
母娘の風景 松本侑子
女盛りは子育て盛り 安藤和津
風の桜蘭 椎名誠
ビジネスマンの父より娘への25通
の手紙キングスレイ・ウォード
池谷くんと西川くん 徳間書店
外国人をホームステイさせる本
松下幸之助と政経塾 山田ひろし
ハレー・ダビットソン 80年史
大国の興亡を論ず 宮崎正弘
シャウプの証言K・S・シャウプ
食物繊維ケーキと天然酵母パン
わたしの献立日記 沢村貞子
酢大豆で健康になる 主婦の友社
象徴天皇制とは何か 大月書店
陛下の旅 広済堂出版
外一二三冊



―計―

一般図書 一五三冊
児童図書 五十冊

小山田氏ゆかりの地(下)

小山田氏が全盛を極めた、小山
田三代居城の地谷村に移りまし
う。

天文元年(一五三三)小山田越
中守信有は金井から谷村に館を移
しました。地形も大きく変わり、
その場所を特定できませんが、谷
村第一小学校から都留市役所あた
りにかけてと推定されていま
す。

小山田氏滅亡の後、ここを
利用して、鳥居(初代)、三輪、
加藤、浅野、鳥居(二、三代)、
秋元(一、二、三代)の各氏が郡内
領を統治したために、谷村が
城下町となり、郡内の政治経
済の中心となって栄えたので
す。こうした意味で越中守信
有は谷村繁栄の開祖といえま
しょう。

市役所の裏には、桂川を隔てて
お城山があります。勝山城と称し、
谷村館の要害城(非常の場合たて
こもる城)として築かれたもので
す。いまも城の縄張り遺構が随所
に見られます。自然を巧みに利用
した中世の山城として、きわめて
堅固な城備えを示すこの城跡は、
都留市指定文化財とされています
が、これらも大切に保護してい
きたいものです。

市役所の真向いには長安寺があ
ります。古い山号を前城山とい
いますが、城の前にあったことを意
味しています。寺伝によりますと、

小山田シリーズ

小山田氏の別荘であったところに
感真生(かんまう)上人を開山に招じ、鳥居
元忠が開基となって寺に遷えたと
されていますので、もともとは小
山田氏の建立したものだといえる
でしょう。

テレビ塔が高くきらめく乙岩
(獅子岩)は烽火台のあったところ
です。中津森館、谷村館、勝山城
などの一環として築かれたものと
みられます。三つの郭や石垣
跡、たて堀、烽火台跡などが
認められ、防護警備の役割を
もった重要な烽火台とみられ
ます。

その他市内の小山田氏ゆか
りの地を紹介しましょう。
東桂では、境内、小山田氏
一族の弾正屋敷があったとさ
れますが、場所は現在、特定
できません。古渡にある古城
山と呼ばれる烽火台跡も小規
模ながら、城構えの遺構が認め
られます。

盛里では与繩に、日影城址があ
り、現在も郭、空堀などの遺構が
残されています。その近くには越
中守信有の娘が開山開基となった
天正寺があり、悲運の物語を伝え
ています。

禾生では小形山に、桂林山富春
寺があります。小山田氏隠居寺と
いわれていますが、岩殿城との中
継点にあり、自然の堀と桂川とに
囲まれ、要害の地であって戦備上
も重要な役割を担ったと思われま
す。

*のろし台